



令和3年11月 発行
 発行者 市民クラブ
 〒206-0802
 東京都稲城市東長沼 2111
 TEL 042-378-2111

代表:いそむら あきこ



無所属
 akko2031@gmail.com

村上 洋子



稲城・生活者ネットワーク
 inagi@seikatsusha.net

武田 まさひと



立憲民主党
 mas.takeda@gmail.com

あらい 健



無所属
 araken-258@docomo.ne.jp

9月議会報告 (9/2~9/30)

市民のくらし最優先の立場に立ち、9月議会でも主張！

9月議会では、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算(合計約9億4千万円)や令和2年度年度決算、稲城市教育委員会委員長の任命、3つの条例改正などが審議され、可決となりました。

議会では「市民の生命と地域医療を守る取組みを強化する意見書」が議員提出議案として提出され、全会一致で可決。東京都に対し、保健所の人員体制の強化・臨時の入院医療施設の整備を求めました。

活動報告

■「市内初の児童養護施設地域小規模型グループホーム」視察 7月28日(水)



■「グループホーム稲城わかば」視察(9/1より開設) 8月26日(木)



■「南山リハビリテーション病院」視察 (10/1より開業) 9月28日(火)



市民クラブの決算の視点と評価

令和2年度の決算額は前年度比で、歳入約130億、歳出約125億膨らみ過去最大規模に。要因は、特別定額給付金をはじめとする国や都の交付金の出入りや、約2億8千万円の学校給食費が令和2年度より公会計化されたことからです。

●新型コロナウイルス感染症対策としての国や都の交付金・補助金が適切にスムーズに給付、活用されたか？

11回の補正予算を組み、必要に応じて臨時議会も開催して対応しました。自由度の高い補助金等を市独自の支援策として活用し、感染症対策や

令和2年度決算を認定

(※一部抜粋)

《決算の内容》

・収入(一般会計歳入)	約467億円
・経費(一般会計歳出)	約452億円
・貯金(財政調整基金)	約28億円
・借入金(普通債・その他)	約27億円
・借入金(普通債・その他)	約244億円

●市民の側から見た市民サービスの内容は？

・第五次長期総合計画の策定
 ・生活困窮者支援体制の拡充
 ・生活困窮世帯及びひとり親世帯に対する子どもの学習・生活支援事業の実施
 ・あそびの広場の拡充
 ・第6期稲城市障害福祉計画の策定
 ・第2期稲城市障害児福祉計画の策定
 ・防災対策全般と救急搬送用アイソレーター装置の購入
 ・第四次稲城市農業基本計画の策定
 ・農地の創出・再生支援事業や生産緑地の賃借契約の支援
 ・学校給食共同調理場第一調理場の建替移転事業
 ・簡易給食の食材費を市負担に
 一方、コロナ禍によって障害のある方へのヘルプ事業で

●財政の健全性が保たれているか？

経常収支比率は88.3%と都内26市中6位であることをはじめ、市財政の健全化指標は、楽観はできないが保たれている状態です。

経済対策、新生児世帯への給付、コロナ禍の子どもの遊び場の公園遊具の整備などが実施されました。

補正予算に賛成しました

(※一部抜粋)

新型コロナウイルス感染症対策の補正予算(第18・19弾)(合計約9億4千万円)が可決！

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の対象が12歳以上となったことに伴う経費の増額
- ・肺炎球菌感染症予防接種における自己負担分の軽減等に伴う経費の増額
- ・市内事業者を紹介するガイドブックを作成
- ・売上が一定以上減少した市内事業者に事業継続のための支援金
- ・保育所・幼稚園・学童クラブ・学校等に新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットを市独自に整備するための消耗費
- ・市内の公園に遊具を整備するための委託料

利用可能な事業者を確保できないケース、子どもの虐待件数の増加もあり、公共施設の利用制限により、居場所や活動の場をなくした市民からの相談等についてはさらなる対応が必要と考えます。

令和4年度予算要望を提出しました

1. 第6波の新型コロナウイルス感染症拡大に対応した対策

- ✓感染拡大防止対策に最善を尽くし、市民の命とくらし、経済を守る。
- ✓学校や学童、保育所、幼稚園などでの抗原検査やPCR検査の予算を確保する。

2. 子育て・教育・文化

- ✓子育て世代の各種サービスの利用料金の減免や経済的支援を行う。
- ✓子どもの権利を守る権利擁護施策を推進し、意見表明・子ども参加の機会を保障し推進する。
- ✓コロナ禍の子どもたちへの心身の影響について、長期的な影響も視野に入れた市独自の調査を行う。
- ✓いじめや不登校など児童生徒や保護者が相談しやすいよう相談体制を強化する。
- ✓不登校児童生徒に対し、オンライン学習の実施やフリースクールなどの情報提供、経済的支援など、誰ひとり取り残さない教育を実現する。
- ✓教員の働き方改革を着実に進め、教員の業務負担等を軽減するために、教員補助員等の増員を行う。

- ✓児童生徒の安全な教育環境を確保するため、小中学校の全ての教室にエアコンを計画的に設置すること。
- ✓小中学校の老朽化した校舎や設備について、計画的に改修・整備を進めること。また、安全点検については、専門業者による点検を行い、必要な事故予防対策を講じること。
- ✓公民館にWi-Fiを整備し、オンライン参加の環境整備を行う。

3. 保健・医療・福祉

- ✓孤独死、自殺対策について、関係機関との連携を強化し、必要な対策を講じる。
- ✓ヤングケアラーを把握し、必要に応じて支援する。
- ✓福祉くらしの相談窓口の相談体制を拡充する。
- ✓若者が相談しやすいようオンライン相談などの環境整備を行う。
- ✓重度心身障がい児、医療的ケア児を含む全ての障がい児が市内の保育所や病児保育施設を利用することができるよう、人材確保・環境整備を行う。
- ✓放課後等デイサービスについて、実際の利用人数と利用状況の点検を行い、適正な利用定員の確保に努める。
- ✓障がい者団体への補助金等の見直しについては当該団体等への聞き取りなどを通じて点検を行うこと。
- ✓ひとり親世帯や女性の非正規労働者に対して、相談体制を強化する。

4. 環境・経済・観光

- ✓公共施設、公共事業、自治体業務でどれだけCO2を削減できるかなど、市独自の脱炭素化に向けた目標と計画を持ち、取組みを進める。
- ✓プラスチックの一括回収については、国や東京都の動向を踏まえて、将来の処分場建て替えやCO2削減を視野に入れた処分方法を考えていく。
- ✓市内農産物の給食への活用を推進し、食育、就労、農地保全などの良好な循環を図る。

5. 都市基盤整備・消防・防犯

- ✓公園整備計画を策定し、公園遊具の改修や新設遊具の設置など計画的に進めること。また、計画にはワークショップの開催やアンケートの実施など利用者の声を幅広く取り入れること。
- ✓街路樹の根上がりやタイルの剥がれなど、歩道整備及びバリアフリー化を進める。
- ✓通学路を中心とした道路整備を促進し、危険箇所の早期解消を図る。
- ✓雨水排水計画を策定し、着実に整備を進める。

6. 市民・行政

- ✓自治体のDXを着実に進め、オンライン申請や属性に合わせたプッシュ型の通知など、デジタル化による市民サービスの向上を図る。
- ✓デジタル格差への解消に取り組むこと。

9月議会の
一般質問から

いそむら あきこ



子どもの事故予防に
ついで

▼子どもの死因の中ではないまだに不慮の事故が上位にあり、悲しい報道が後を絶ちません。事故の原因究明により、同じ事故を繰り返さない取り組みや、万が一事故が発生しても被害を最小限にとどめる取組みを求めます。

Q. いそむら 園バスにおける事故予防について、認定こども園・幼稚園バスでの安全対策の実施状況は？

A. 市側 乗車中の子どもへの目配りや乗降車時の人数確認、降車後の車内の目視確認等、各園において事故予防のための安全対策が行われている。

※園バスは行政の監査対象ではないが、アルコールチェックやシートベルトの着用の義務がないなど、安全対策が十分ではない。私は稲城市のさらに踏み込んだ対応をすべきと主張！

Q. いそむら 水辺の事故予防について、特にライフジャケット着用についての取組みが必要だと考えるが認識は？

A. 市側 市内の多摩川に近い学校において、総合的な学習の時間の中でライフジャケットを着用した取組はある。市内全小・中学校への取組は、今後、研究する。

Q. いそむら 令和2年度の市内通学路における、交通安全対策について伺う。

A. 市側 ボード、防護柵の設置を21件、路側帯や減速ラインマーク等の区画線の溶着を10件、交差点マークの溶着を2件、カラー舗装を2件、ナビマークの設置を2件、実施している。

武田 まさひと



稲城市の緑の保全について

▼森林は個人所有が多く、減税措置もほとんどないが、特別緑地保全地区の指定の検討、公有化の財源としての緑化推進基金の活用も検討し、「緑の環」を維持していくとの回答。

生産緑地においても特定生産緑地申請で10年間の減税や相続税猶予ができます。法律の改正で農地の貸借も期限付きで可能となりました。ただし、樹林地は相続税のために手放さざるを得ないケースも多いので、残すために効率よく保全していただくよう要望しました。

土砂災害から市民の安全を守るための取り組みについて

▼熱海伊豆山地区の土石流など、各地で自然災害が多発している中、稲城市内の危険性に対する確認しました。

そのほか

▼新型コロナウイルスで自宅療養者・入院調整者がふえている中、自然災害が発生した時の命を守るための対応について
▼コロナ禍における市主催のイベント開催の可否について

村上 洋子



稲城市における
子どもの権利擁護について

▼虐待対応の時なども子どもへの丁寧な説明と意見表明の機会を保障することを求め確認しました。「学校アドボカシー制度」については保護者からの相談を受け付けているが、他部署との連携をしながら、子どもからの相談も受け付ける権利擁護制度への移行を提案しました。

特別支援教室の現状と課題
今後の取り組みについて

▼義務教育卒業後の支援の継続は、進路先との連携が大切であるとの回答。周りの子どもや担任を含めた学校全体、親や地域の理解と対応が大切であることを確認しました。退室基準が明確には定められていないことも課題です。

新型コロナウイルス感染症
対策について

▼第5波での自宅療養者、調整中の方への対応について確認しました。

南多摩保健所が市医師会や薬剤師会に依頼し、電話やオンラインでの診療や往診、薬の配付などが行われていた。コロナ関連の救急搬送で受け入れ先がないケースは稲城市では無かったという回答でしたが、市独自の積極的な「体制づくり」と「抗原検査」などの採用を提案しました。

※9月議会最終日の補正予算で子どもへの「抗原検査キット」の整備が可決されました。

あらい 健



市民の声を大切に
市政の運営を

▼9月議会に参加してこの間の市政運営を質し、市のまちづくり等については質問しましたので、その概要を報告します。

▼今回の議会では、多くの議員がコロナ問題を取り上げて、この間の市の対応について質しましたので、私もこの問題について他の議員とダブらないように次の点について質問しました。

第6波の到来等に備えた
稲城市のコロナ病床の
拡充について

▼稲城市を含めた多摩地域6市の市長が連盟で東京都に要請しています。そこで私は、この問題について、稲城市の南山にできる「南山リハビリテーション病院」に、コロナ病床を確保する努力をすべきではないかと提案しました。

しかし、市の回答は、リハビリ専門病院なので要請は困難という全く素つきのない回答でした。私としては、稲城市のコロナに対する姿勢に疑問を感じるやりとりでした。

そのほか

▼坂浜地区のまちづくりに対する稲城市の対応
▼稲城市の市内交通網の拡充
▼平尾中央どおりの交通渋滞解消問題

*詳しい内容については市のホームページから議会の録画
中継等をご覧ください



公園整備第2弾が決定！！

令和3年度第一回臨時会の補正予算において、市内の公園に遊具を整備するための委託料が計上され、大型複合遊具やハーネス付きのブランコなどが設置されましたが、大変多くの市民の方から喜びの声をいただいています。また新しい遊具に子どもたちが喜んで遊んでいる姿を大変多く見かけ、特にコロナ禍において子どもたちの成長の場としても重要な公園が整備されて本当によかったと思います。

今回の補正予算では、以下の公園にスプリング遊具やシーソー・健康遊具の整備が決定しました。公園についてのご意見・ご要望は、「市政への提案」や「いなレポ」アプリをぜひご活用ください!!

【新しい遊具を整備予定の公園】

- 東長沼地区:吉方公園
- 大丸地区:大丸河原方児童公園
- 百村地区:百村神化公園・木詰台公園
- 平尾地区:平尾谷戸公園・平尾向山児童公園
- 押立地区:押立中関児童公園
- 向陽台地区:城山公園・とりさん公園・1-I緑地
- 若葉台地区:若葉台公園・けやき公園

稲城市公園等レポートアプリ いなレポ

「いなレポ」は、いなぎグリーンウェルネス財団が管理する稲城市内の公園内の不具合箇所や見どころ等をレポートできるアプリです。
公園内で不具合を見つかったり、いいなと思う見どころを発見したら、アプリでレポートを送ってみましょう。



アンドロイド用



IOS 用

お問い合わせ
いなぎグリーンウェルネス財団
TEL 042(331)7156

市民クラブにご意見をお寄せください。

地域のことでの困りごとや市政へのご意見などをお寄せください。

QRコードから簡単に入力ができます。⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

